



発行日=2005年10月25日 発行人=面出 薫 編集=田沼 彩子・永津 努・窪田 照彦  
照明探偵団・事務局 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-28-10 ライティングプランナーズ アソシエーツ内 (田沼 彩子)  
TEL : 03-5469-1022 FAX : 03-5469-1023 e-mail : office@shomei-tanteidan.org http://www.shomei-tanteidan.org

# 照明探偵団通信

vol.23 Shomei Tanteidan Tsu-shin

## 国内調査レポート1

「The Old and New of Nagasaki」

～長崎～

## 国内調査レポート2

「ミナトマチヨコハマ」

～横浜～

## 海外調査レポート

「ライティング・カウボーイ」

～アメリカ / ダラス・フォートワース～

## 照明探偵団倶楽部活動1

Transnational Tanteidan in Bali

～バリ～

## 照明探偵団倶楽部活動2

Transnational Tanteidan Forum 2005 in NY

～ニューヨーク～

## 照明探偵団倶楽部活動3

街歩き報告 (7/12 銀座)

## 照明探偵団倶楽部活動4

研究会サロン報告 (7/28)



アメリカ / ダラス・フォートワース

# The Old and New of Nagasaki

2005. 7. 27- 29

中山 レイチェル

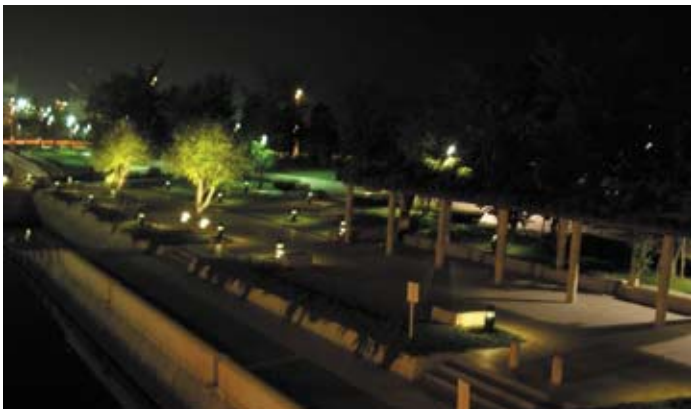
Nagasaki, located in western Japan on the island of Kyushu, is a compact city of 440,000 people with unique geographical features and a strong foreign influence. Geographically, the city is situated along the banks of the Nagasaki Bay, a major port in Kyushu, and spread over the hillsides of two river valleys. I explored the historical slopes through this hillside city and newly redeveloped waterfront.



Minimal functional lighting plus accent lighting along Dejima Wharf creates a relaxing atmosphere for late night diners.

## ■ Bottoms Up!

I quickly found out that the downtown area is not a happening nightscape in Nagasaki. Tsukimachi Avenue and Kanko Avenue in downtown Nagasaki are a network of cars, streetcars, and pedestrians bustling about in the afternoons, but as the shops close and the city shutdowns for the night, streetlights specific for car traffic is the main light source remaining along these dark streets. Not a very inviting atmosphere for the shoppers and tourists, who head down to the Seaside Park and Dejima Wharf. This relatively new area is packed with trendy boardwalk cafes to lounge next to the cool waters and enjoy a late dinner and drinks in the city. Table candles and reflections in the bay add to the low-key atmosphere, but don't miss the bowl-shaped view of Nagasaki. Since there are no extremely tall buildings to block the view and the lay of the city gradually



The quiet atmosphere of Seaside Park.

increases in height from the bay, the wharf offers a "bottom-up" view of the city. Looking up and in between some buildings the faint city lights stretch to the hilltops and continue connecting with the starry-sky to complete the circle.

After dinner, the Seaside Park is an inviting place to take a little stroll. Most sources of light are low fluorescent light bollards and footlights, below eye level, and provide enough comfortable light for the footpaths and bench areas. Besides the open grassy area that is blasted with glaring light from high-mast poles, the niches cutout along the canal and in the foliage offer a comfortable level of darkness for night owls.

## ■ The Nagasaki Fountain of Youth

The next night I moved camp across town to a hilltop cemetery on Mt. Futo, where I had a more direct view of the downtown lights and the hillsides on the eastern side of the bay. This journey was not by a 5-minute ropeway ride, as up the side of Mt. Inasa, but by way of one of the many charming slopes in Nagasaki, Heifuri Slope, found hidden among a row of temples at the base of the hill. Through the trees on top Mt. Futo, the neon signs of the downtown area stood in great contrast to the dark Nagasaki Bay and the opposite hillside came to life as it revealed a real-live connect-the-dots game piece. The small specks of light from lanterns along the narrow slopes and paths connected to form individual jagged lines up and down the hillside. Most of these cobblestone slopes are sparsely lit with old lantern-style streetlights, where turning a corner



Lanterns lighting the many slopes dot the hillside over Nagasaki.



can leave you on pitch-black stairs or with the dim orange glow of a sodium lamp to light your path. In general, these winding paths could use more foot light on the actual paths, but they are navigable. Some slopes are more conventional, with revamped cement stairs and streetlights with fluorescent lamps, but overall the quaint shadowy appeal of these slopes is not threatening, but leaves one feeling nostalgic in this slow-paced city. However, the real charm of these slopes is better viewed in the daylight where one can enjoy the changing shadows on the cobblestones and see more details of the path and surroundings, which is the real attraction. These simple little paths are a modern day time machine!



The steep path of Heifuri Slope with a single streetlight.



A dimly lit slope in Nagasaki.



Birds-eye view of Nagasaki from Mt. Inasa.

#### ■ A Quiet Little Town

Rising 333 m above Nagasaki, Mt. Inasa is the prime lookout to sneak a panoramic view of the city. I made my way towards the mountain on an evening in late July. The air was hot, but the cool breeze off the coast and the view made the trip worth it. From this perch, it was a perfect panoramic view of the city with the main geographical features laid out below: bay, river valleys, and hillsides. As the night set in and the blue moment crept closer, the city took on numerous shades of blue, as I snapped the shutter on my camera. Overall it is not a very bright city, but hot spots around the city gradually became visible, the downtown, Nagasaki Station, Dejima Warf, rooftop beer gardens, and in the background residential lights twinkled on the hillsides. The office buildings in the downtown area are relatively low structures without much illumination seen from this view and the main bridge across the bay, also unfortunately, faded into the night.

(Rachel Nakayama)

# ミナトマチヨコハマ

2005. 7. 29

窪田 照彦 + 村岡 桃子 + 山本 幹根 + 永津 努

ミナトマチヨコハマ。港の景観、異国情緒あふれる町並み、潤いと安らぎを与える水辺の空間。その特徴、魅力を活かしなが  
ら街づくりを進めている「みなとみらい21」。計画された光と、  
水に映る有機的な光の演出を調査してきました。



大さん橋先端からの横浜夜景

## ■光の港横浜

大さん橋よりみなとみらい21を望む。中央にそびえるのはランドマークタワー。左手に赤レンガ倉庫、右手にはコスモワールドの大観覧車とクイーンズスクエア、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル。みなとみらい地区の開発は華のある夜景をつくりだした。



横浜の夜景を背景に水辺に浮かぶ屋形船を見ながら機車道を歩く



インターコンチネンタルホテルを見ながらさくら通りを歩く

夜景が水面にゆらゆらと映り込む情景は、普段めまぐるしく過ぎていく時間を忘れさせてくれる。観覧車や屋形船の動く光が、夜景のアイキャッチにもなる。ミナトマチヨコハマには、多彩な光が穏やかに共存している。

(窪田 照彦)





歩道から見た赤レンガ倉庫



歩道橋からの赤レンガ倉庫周辺を望む



赤レンガ倉庫の広場とそこからの景観

#### ■歴史と憩いの場の赤レンガ倉庫

赤レンガ倉庫は、明治末期から大正初期に建設されたレンガ造りの歴史的建造物である。みなとみらい21中央地区と中華街・山下地区を結ぶ中間点に位置しており、水際沿いを歩く人々の流れをつくり両地区の結節点となるとともに、人々の快適な憩いの場、流の場となっている。一号倉庫は、主に文化施設として、二号倉庫は、主に商業施設として利用されている。二棟の倉庫にはさまれた広場も、倉庫と一体的な賑わい演出空間として位置付けられている。海沿いからは、大さん橋・横浜ベイブリッジなど、とても良い景色が見えるところである。

赤レンガ倉庫前は、広場周辺の、鉛直面の輝度が明るくなっている。そのため、柔らかく心地良い光である。赤レンガ倉庫から海沿いに向かうにつれ次第に暗くなっていく。その空間の連続は、照明の変化だけではなく赤レンガ倉庫近景と遠景を同時に体験できるように計画されている。また、車道も同様のナトリウムランプが使用されているため、赤レンガ倉庫を演出しているような印象を受けた。車道空間だけで見てしまうと、演色性は悪いが、全体的には、赤レンガ倉庫に合った照明計画になっている。

(山本 幹根)

#### ■ガス灯日本で一番のり!! 馬車道

横浜市の街づくりの方針として、馬車道では歴史的建造物の保存・活用に力を入れている。ガス灯をはじめ、馬の頭部をかたどったガードレールの支柱や馬車の絵が描いてあるマンホールなど、随所に馬車道のアイデンティティのアピールが見受けられる。古いつくりのモールは寂れた印象で、看板灯が消されて広くない歩道にせり出し、人々の通行を妨げる。ガス灯のあかりが灯ると、雑多な風景は少しの落ち着きと統一感を持つ。

歩道の路面は平均して5lx程度。目線を下に向けるとかなり暗く感じる。車のヘッドライト、店舗から漏れる光、看板の光等がくっきりと浮かび上がるほどの明度差を感じる。車の往来が非常に多く、そのたびにヘッドライトに照らされる感じがするのでせわしない。

色温度の低いガス灯の光は心を和ませてくれるが、メンテナンス状況が悪く、点灯していないものもいくつもあり、通りを寂しい雰囲気にしてた。ガス灯が設置された当時は、夕方にはっぴ姿で長い竿の先に火をともした点灯夫がやってきて、次々とガス灯に火をつけて回ったという。この通りの交通量等の周辺環境を鑑みると、少し心もとない印象である。

(村岡 桃子)



ガス灯が立ち並ぶ馬車道



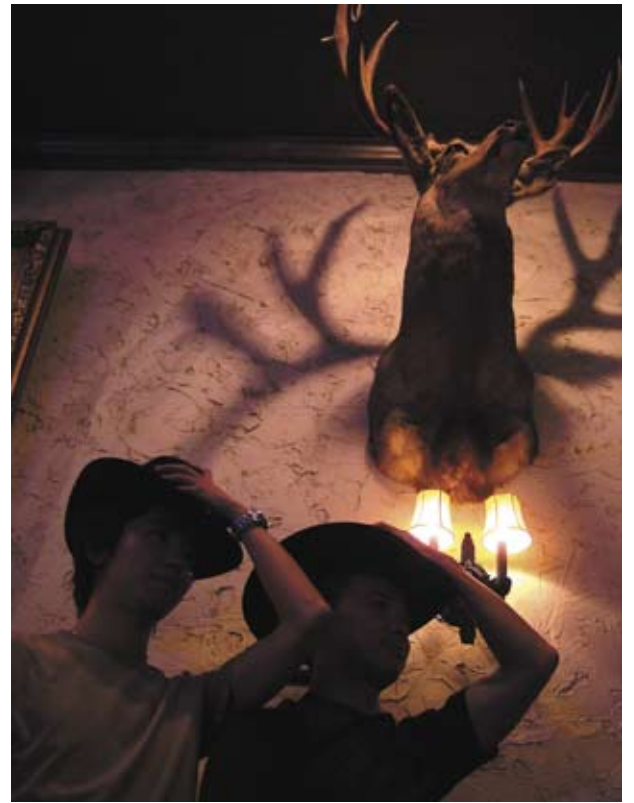
ガス灯からは柔らかい光がこぼれる

# 「ライティング・カウボーイ」

アメリカ / ダラス・フォートワース 2005.09.23-24

田中 謙太郎・平岩 洋介

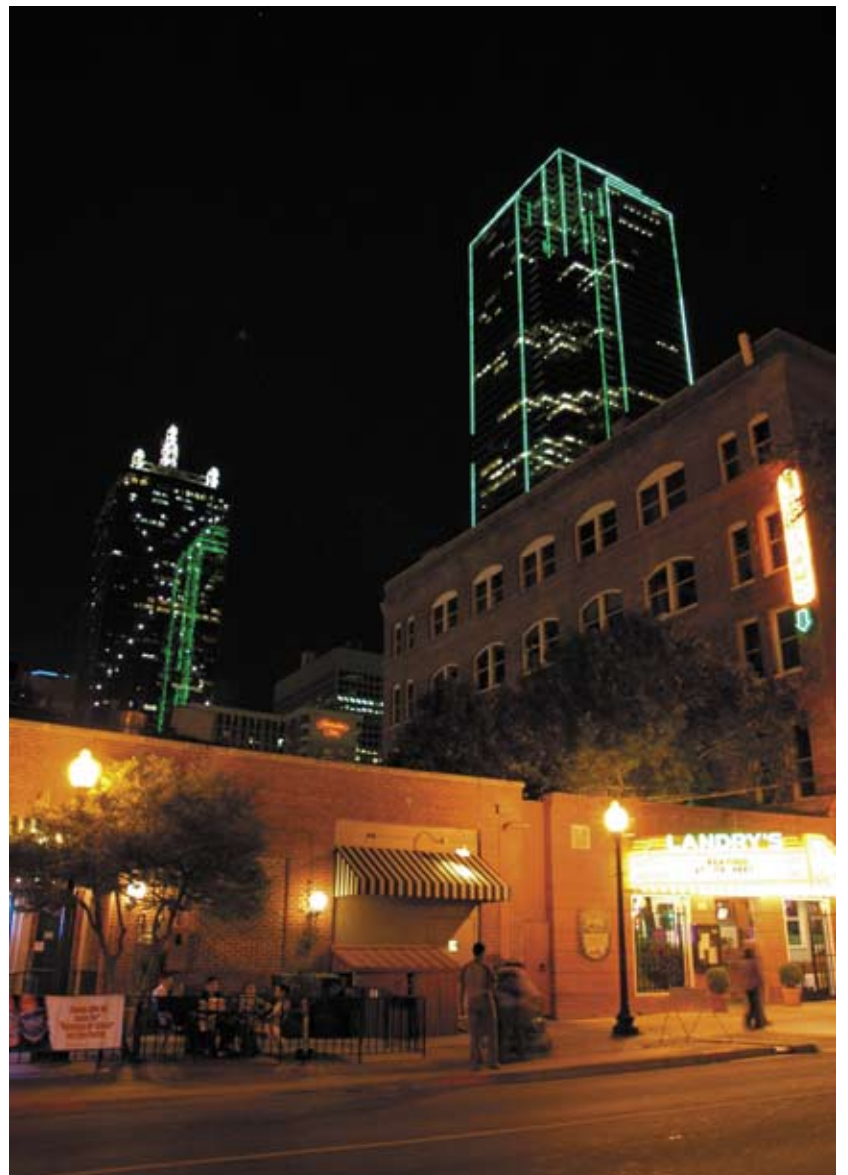
Transnational Tanteidan Forum のために滞在したニューヨークでは、連日ハリケーン関連のニュースが報道されていた。ニューオーリンズを襲った Katrina を上回る勢力の Rita がアメリカ南部に接近中とのことらしい。今回の調査地は、アメリカ南部 / テキサス州に位置するオイルマネーで発展を遂げてきたダラス、アメリカウェスタンの新旧文化が混在するフォートワースの 2 都市を訪れた。天候に多少の不安を抱いたまま、僕等はダラス・フォートワース国際空港に降り立った。ダラス・フォートワース国際空港は毎日約 2000 機が発着し、年間 5700 万人近くの人々が利用する世界第二位という巨大空港だ。この空港を中心とした、二等辺三角形の東の頂点がダラス、西の頂点がフォートワースという位置関係になる。今回の調査では双子都市と称されるテキサスの二都市を、それぞれ一日という強攻日程で「現代の馬？」オープンカーを駆り、走り回った。



## ■ミラー都市・ダラス

空港からダラス中心部に向けたハイウェイの車中、嵐の前の静けさか、真青な空と強い日差しが流れる景色に強いコントラストを与えている。9 月下旬というのに 30 度を超える暑さだ。30 分ほど走ると車窓からはその日差しを克服すべく、熱線反射ガラスに覆われた高層ビル群が忽然と姿を現した。ダラスという街の全体像を把握すべく、展望室のあるタワーを目指し、ダウンタウンの西端に建つ高さ 200 m のリユニオンタワーに登った。西方にはテキサスの広大な大地が広がり、東方にはまさにオイルが噴出したように商業都市ダラスの摩天楼がそびえたつ。薄暮の時間を逃さぬよう展望台に戻り東方を望むと、多くのビルがその鏡面ガラスに西の空を映し紅色に輝いていた。日が暮れるにつれ、各ビルのファサードライティングが際立ってくる。それは少し時代遅れな感じのグリーンネオンの縁取り照明。ひときわ主張の強い Bank of America Plaza ビルを筆頭に、ここでもガラス建築ということに端を発し、エッジや頂部をライン的に演出する手法が先端だった時代がそのまま生き残っている。LED などを用いたファサードライティングが主流となっている現在と比較すると、むしろストレートな潔さを感じる。その足元を流れる幹線道路ではナトリウムランプのオレンジ色の車道照明が主役となり、部分的に駐車場や公園の水銀灯の白い光が点在している。

視線を落としダウンタウンを走っていると、ダラスという都市の知名度を一気に世界的なものにしたシックスフロアに通りがかった。1963 年、当時のアメリカ合衆国大統領 JFK 暗殺の舞台となった場所だ。ここには観光客らしき人の姿がちらほらと見えるが、街の中心部付近にも歩行者の姿があまり見られず、活気のない印象を受ける。街で一番の繁華街がウエストエンド歴史地区である。演色性の悪いナトリウムランプの光が支配的で周囲の木々の色彩を掻き消していた。若干の治安の悪さを感じながら、人の賑わいを確認しシャッターを押し続けた。空を見上げると空中にそびえたつ高層ビルの光が相互に映り込み、虚像のような光景が印象に残った。



主張の強い光が他のビルのガラスにまで映り込む



## ■鏡像都市・フォートワース

ダラスから西へ1時間ほどフリーウェイを走ると、フォートワースだ。フォートワースは19世紀後半～20世紀初頭にかけてストックヤード・エクステンジ（家畜の取り引き場）としてその名を馳せた街で、最盛期には1週間に10万頭以上もの家畜が取り引きされていた。現在ではその取り引きは行われておらず、代わって当時の古き良きアメリカの街並みを再現した観光地として全米から多くの観光客を集めている都市だ。カウボーイハットが正装に映る特徴的なストックヤード地区の街並みとは対照的に、ダウンタウンにはガラスファサードを持った高層ビルが林立し、ダラスの街並みと似た印象を受ける。日没後にはやはりエッジをライン的に演出した高層ビル群が形作る夜景が姿を現した。



フォートワースでもライン的な照明演出が主流



古き良きアメリカの景色を残すストックヤード地区



キンベル美術館の西側アプローチ。天井のスポットライトの中には防犯カメラを仕込んだものも



屋光が伝えるヴォールト形状もまた美しい



キンベル美術館の展示空間



ランプ切れとエイミングが残念なキンベル美術館の西側アプローチの照明

## ■昼のキンベル美術館、夜の近代美術館

一般的には馴染みの薄いフォートワースという都市名だが、フォートワース自慢のカルチャーディストリクトでは、世界中から建築関係者を誘う著名な美術館を訪ねることができる。キンベル美術館はモネ、ピカソといった西洋美術史の巨匠による展示品だけでなく、建築家ルイス・I・カーンの設計による建築自体が展示品のひとつとなっている。「LIGHT IS THE THEME」という建築家の言葉を残すこの建築は、アメリカ建築の最高峰とも言われている。建物は南北に走る6列のヴォールト群によって構成される。西端のヴォールトは美術館へのアプローチ兼ポーチとして公園に向けて開放されており、隣には水盤が配されている。天井に並べられたスポットライトは壁面に向けられ、水盤に映り込む美しい景色を期待したが、ランプ切れとエイミング不足で残念なものになっていた。内部空間では頂部に開けられたスリットから入る自然光が、建築に統合されたりフレクターに反射し、ヴォールト天井を見事なまでに銀色に輝かせていた。カットオフが取られたその光はその道筋がはっきりと見えるようで、展示品を直接照射することなく、展示空間をやさしい光で満たしていた。展示のための人工照明はというと、白熱灯のスポットライトを自然光のリフレクターと一体化させたミニマムなもの。自然光と白熱灯という色彩の再現性に優れた光による、評判通りの理想的な鑑賞空間であった。

キンベル美術館のはず向かいには、安藤忠雄氏設計によるフォートワース近代美術館がある。北米の近代美術館の中でも最大規模を誇るもので、光が反射する人工池に囲まれた総ガラス張りの建物だ。ここの展示空間は、スポットライト/ウォールウォッシャーの配光違いの灯具のみで構成され、鉛直面・視線高さで130(Lx)といったところだ。数値的にはキンベルよりも若干低い程度だが、目上に屋光による輝度を感じさせるキンベルと比べると随分と暗い印象だ。取囲む池に面したあらゆる壁面はウォールウォッシュされるといった具合で、水を活かした夜景を作ろうというはっきりした意図が感じられた。強風のため鏡とまではいかないまでも、水面にはその意図された姿が美しく映し出されていた。

(平岩 洋介)



フォートワース近代美術館



レセプションパーティーに集まった人達のシルエットが美しい